

平成26年1月 受託研究審査委員会 会議の記録の概要

【開催日時】平成26年1月9日（木）16:00～18:00

【開催場所】国立病院機構大阪医療センター 臨床研究推進室会議室

【出席委員】三田英治、中多 泉、渡津千代子、金村米博、宮本敦史、木村一夫、村田 稔、太中千代子、山下 亨

【審議事項】

1. 新規審査申請

(1) アストラゼネカ株式会社の依頼による AZD5363 の第Ⅱ相試験

主な修正事項：同意説明文書の記載内容を修正する。

(2) ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした LEE001 の第Ⅲ相試験

主な修正事項：同意説明文書の記載内容を修正する。

2. 新たな安全性に関する報告

(1) グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした GW572016（ラパチニブ）の第Ⅲ相試験

重篤な副作用個別報告、措置報告、その他報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(2) 中外製薬株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした R04876646（ベバシズマブ）の第Ⅲ相試験

重篤な副作用個別報告、措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(3) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による HER2 陽性の局所進行性又は転移性乳癌患者を対象とした RAD001 の第Ⅲ相試験

重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(4) 大鵬薬品工業株式会社の依頼による ABI-007 の第Ⅱ相試験

重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(5) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による HER2 陽性の局所進行性又は転移性乳癌患者を対象とした併用治療+RAD001 の第Ⅲ相試験

重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(6) グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による転移性乳癌患者を対象としたラパチニブのパクリタキセルとの併用第Ⅰ/Ⅱ相試験

重篤な副作用個別報告、措置報告、その他報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(7) 東レ株式会社の依頼による慢性腎不全患者を対象とした TRK-100STP の第Ⅱb/Ⅲ相試験

重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(8) 東レ株式会社の依頼による慢性腎不全患者を対象とした TRK-100STP の第Ⅱb/Ⅲ相試験

重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(9) 東レ株式会社の依頼による慢性腎不全患者を対象とした TRK-100STP の第Ⅱb/Ⅲ相試験

重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(10) 東レ株式会社の依頼による慢性腎不全患者を対象とした TRK-100STP の第Ⅱb/Ⅲ相試験

措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(11) 第一三共株式会社の依頼による早期乳癌患者を対象としたデノスマブの第Ⅲ相試験

重篤な副作用個別報告、定期報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(12) 第一三共株式会社の依頼による早期乳癌患者を対象としたデノスマブの第Ⅲ相試験

重篤な副作用個別報告、措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- (13) 中外製薬株式会社の依頼による前期第Ⅱ相試験
措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (14) 日本イーライリリー株式会社の依頼による転移性胃腺癌および胃食道接合部線癌患者を対象としたラムシルマブ（IMC-1121B）とパクリタキセル併用療法の第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (15) バイエル薬品株式会社依頼による乳癌患者を対象としたソラフェニブとカペシタビンの併用第Ⅲ相臨床試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (16) 中外製薬株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした R05304020 と R04368451 の第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告、措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (17) エーザイ株式会社によるエリブリンメシル酸塩の臨床第Ⅱ相試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (18) 骨巨細胞腫患者を対象とした AMG 162 の第Ⅱ相臨床試験
重篤な副作用個別報告、措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (19) 骨巨細胞腫患者を対象とした AMG 162 の第Ⅱ相臨床試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (20) グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による閉経後の転移性乳癌患者を対象としたラパチニブ、トラスツズマブおよびアロマターゼ阻害剤併用第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告、措置報告、その他報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (21) 医師主導による乳癌患者を対象としたラパチニブの第Ⅱ相試験
措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (22) 医師主導による乳癌患者を対象としたラパチニブの第Ⅱ相試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (23) 医師主導による乳癌患者を対象としたラパチニブの第Ⅱ相試験
その他の報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (24) 中外製薬株式会社の依頼による R04368451 (Pertuzumab) と Ro45-2317 (Trastuzumab) の早期乳がんを対象とした第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告、措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (25) 武田薬品工業株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした TAP-144-SR (6M) の第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (26) 興和株式会社の依頼による C 型肝炎ウイルス陽性肝細胞がん根治患者を対象とした NIK-333 の第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (27) 大鵬薬品工業株式会社の依頼による ET-743 の第Ⅱ相試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (28) 大鵬薬品工業株式会社の依頼による ET-743 の安全性試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。
- (29) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした BKM120 の第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (30) 中外製薬株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした R04876646 の第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告、措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (31) 大鵬薬品工業株式会社の依頼による ABI-007 の胃癌患者を対象とした第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (32) 大鵬薬品工業株式会社の依頼による TAS-118 の膵癌患者を対象とした第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (33) 院内肺炎の成人入院患者を対象とし、治験薬の有効性、安全性及び忍容性を対象薬と比較評価する第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- (34) 中外製薬株式会社の依頼による早期乳癌患者を対象とした R05304020 と R04368451 の第Ⅲ相試験
重篤な副作用個別報告、措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- (35) 中外製薬株式会社の依頼によるトラスツズマブ エムタンシン（遺伝子組換え）の第Ⅱ相臨床試験
重篤な副作用個別報告、措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

(1) から (35) の審議結果：承認

3. 治験実施中の重篤な有害事象に関する報告

- (1) 医師主導による乳癌患者を対象とした Olaparib の第Ⅰ/Ⅱ相試験

(1) の当院で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

4. 治験実施計画書記載内容等の変更報告

- (1) 中外製薬株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした Pertuzumab と Trastuzumab の第Ⅲ相試験
治験実施計画書国内追加事項に関する変更等の妥当性について審議した。
- (2) 東レ株式会社の依頼による慢性腎不全患者を対象とした TRK-100STP の第Ⅱb/Ⅲ相試験
実施計画書、治験薬概要書、治験参加カード、研究経費算定表等に関する変更等の妥当性について審議した。
- (3) 東レ株式会社の依頼による慢性腎不全患者を対象とした TRK-100STP の第Ⅱb/Ⅲ相試験
同意説明文書、治験薬概要書に関する変更等の妥当性について審議した。
- (4) バイエル薬品株式会社依頼による乳癌患者を対象としたソラフェニブとカペシタビンの併用第Ⅲ相臨床試験
治験実施計画書に関する変更等の妥当性について審議した。
- (5) 中外製薬株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした R05304020 と R04368451 の第Ⅲ相試験
治験実施計画書、治験実施計画書別紙1に関する変更等の妥当性について審議した。
- (6) 骨巨細胞腫患者を対象とした AMG 162 の第2相臨床試験
治験薬概要書、同意説明文書に関する変更等の妥当性について審議した。
- (7) 転移・再発乳癌患者を対象とした NK105 とパクリタキセルとの比較第Ⅲ相国際共同臨床試験
治験実施計画書（英語版、日本語版）、治験実施計画書補遺、同意説明文書に関する変更等の妥当性について審議した。
- (8) ノバルティスファーマ株式会社の依頼によるニロチニブの第Ⅱ相試験
治験実施計画書、治験実施計画書付録、説明同意文書に関する変更等の妥当性について審議した。
- (9) 大鵬薬品工業株式会社の依頼による TAS-118 の膵癌患者を対象とした第Ⅲ相試験
治験実施計画書別紙に関する変更等の妥当性について審議した。
- (10) 院内肺炎の成人入院患者を対象とし、治験薬の有効性、安全性及び忍容性を対象薬と比較評価する第Ⅲ相試験
治験実施計画書管理的項目の変更 J4 に関する変更等の妥当性について審議した。
- (11) HER2 陽性の手術不能又は再発乳癌に対する一次治療としてのペルツズマブ、トラスツズマブ及びドセタキセル併用療法の有効性及び安全性を検討する製造販売後臨床試験
治験実施計画書、治験実施計画書別紙1、別紙2に関する変更等の妥当性について審議した。
- (12) 興和株式会社の依頼による C 型肝炎ウイルス陽性肝細胞がん根治患者を対象とした NIK-333 の第Ⅲ相試験
治験実施計画書に関する変更等の妥当性について審議した。
- (13) ファイザー株式会社の依頼による乳がん患者を対象とした PD-0332991 の第3相試験
服用方法の変更に関する Dear Investigator Letter の発行に関する変更等の妥当性について審議した。

(14) ファイザー株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした PD-0332991 (PALBOCICLIB) の第Ⅲ相試験服用方法の変更に関する Dear Investigator Letter の発行に関する変更等の妥当性について審議した。

(1) から(14)の審議結果：承認

5. 医師主導治験のモニタリング報告

- (1) 医師主導による乳癌患者を対象としたラパチニブの第Ⅱ相試験
- (2) 医師主導による乳癌患者を対象とした Olaparib の第Ⅰ/Ⅱ相試験

モニタリング報告の妥当性について審議した

(1)から(2)の審議結果：承認

6. その他

【報告事項】

1. 以下の終了報告があった。

- (1) MSD 株式会社の依頼による C 型慢性肝炎を対象とした MK-7009 第Ⅲ相試験

- ※ 受託研究審査委員会は、GCP 省令に定める治験審査委員会に該当するものである。
- ※ 治験、製造販売後臨床試験の審議、報告事項の概要について掲載している。
- ※ 議題名は、治験依頼者から提示された公表用の名称である。議題は項目、課題毎に提出日順に掲載している。

以上